

(仮称) 駒井公園整備基本計画の共有報告会  
議事録(要旨)

日時：令和6年3月10日(日曜日)10時00分から12時00分

場所：南部地域センター 1階多目的ホール

住民：15人

狛江市：都市建設部まちづくり推進課 松野課長、富永副主幹、安岡主任、市野主事

都市建設部整備課 松本係長

環境部環境政策課 秋山課長、富岡主任

委託業者：株式会社八州 津守、國井、佐藤

## 1. 説明内容

- (1) 計画の背景と目的
- (2) 本公園の概要
- (3) 上位・関連計画の位置付け
- (4) 本公園の現況概要
- (5) 本公園の課題整理
- (6) 市民参加による意見の収集
- (7) 基本計画
- (8) 公園パース
- (9) 今後のスケジュール(予定)

## 2. 質疑応答

住民：小学生の子どもが2人おり、下の子は駒井町内の保育園に通園していた。保育園では、平日の昼間に散歩や外遊びで近隣の公園へ行くことが多いと思うが、本公園の計画段階で保育園へのヒアリングは行っているのか。

市：近隣の保育園へのヒアリングは行っている。トイレがないと立ち寄ることができないという御意見をいただいていたため、保育園の園児が立ち寄れるようトイレ設置の要望を反映している。

住民：遊具に関しての要望は聞いているか。

市：遊具については、個別具体にお聞きできてはいないが、ワークショップを通して、近隣の保育園へ通園するお子様を持つ保護者様からも御意見をいただきました。

住民：本計画で、ブランコ等の遊べる人数を限定する遊具が多いことが気になった。周りに幼児が列をなし、動く遊具ゆえに周辺に近づけない状況が起きるのが懸

念である。またがったり、乗ったりするだけでも幼児にとっては楽しいはずであり、皆で遊べるという意味では、ゴム製のドーム状の遊具等が良いのではないか。遊具については、色々御検討いただければと思う。

市：御意見として承る。管理面とつながる点もあるため、今後検討を深めていく。

住民：第六小学校に子どもを通わせている。2点質問がある。

1点目は、ボール遊び広場や健康遊具ゾーンのダスト舗装は、転んだらケガをして痛いのではないかということで、2点目は、芝生ができるのは良いが、管理が大変だと思う。芝生管理について、どのように考えているかお聞きしたい。

市：ダスト舗装に決定するまでに、人工芝やハードコート舗装等、いくつか舗装の種類を検討する経緯があった。本公園は住宅地の中にあるため、周辺への音の影響を考慮する必要があり、音の響きにくさや舗装素材としての汎用性の高さ等、総合的に考慮した結果、ダスト舗装を選定した。

市内でも芝生が張られている公園はいくつかあり、市民と協働で管理を行っている。ワークショップでも管理方法について議論いただいたが、可能な範囲で市民の皆様に管理の御協力をいただきつつ、市にて芝刈りを適切に行うことで管理を行う予定である。

住民：ダスト舗装とは、具体的にはどのような舗装なのかと、また「芝生」のうち、人工芝と天然芝はそれぞれ公園内でどこに配置されるのかを教えていただきたい。

市：ダスト舗装は、スライド45ページにイメージ写真を記載しているが、粒子の細かい砂利で構成された土系舗装である。芝生については、今回の計画ではすべて天然芝を想定している。ワークショップでも人工芝の御意見はいただいたが、夏に高温になる等のデメリットを考慮し天然芝とした。

住民：天然芝は良いと思うが、管理や育成が必要になると思うが、この図面では給水場所が分からない。給水・排水の計画があれば教えてほしい。

市：給排水については検討中であり、周辺の地形・地質や管の状況を見て計画を行う。基本的には公園外周の園路沿いに排水の機能を設けるが、周辺の地質の状況からは浸透が可能であると見込まれるため、排水の機能にトレンチや浸透柵等を設けることで、外へ出ていく水をできるだけ少なくするような自然に優しい排水計画を検討している。

住民：植栽が多いため水やりが大変だと思うが、何か所か水やりを行えるような仕組み・装置等を検討しているか。

市：スプリンクラー等の散水装置又は散水栓等の設備の設置を検討し、園内全体で水やりを行えるよう検討する。

住民：計画図はこれまで検討してきた様々な意見が細やかに反映されていて、楽しみである。一方で、ボール遊び広場は禁止事項がかなり多いように感じる。ここに記載のあるルールは最終決定なのか。

市：現状、最終決定かと問われると悩ましいところがある。市内の小足立グラウンドは、駒井公園と同様に周囲にフェンスを設けたボール遊び広場であり、周辺に

住宅があるため「フェンスにボールを当てないでください」といったルールがある。フェンスにボールを当てることで発生する音の問題、当たったボールがどこへ飛ぶかわからない危険性や、フェンスを傷める可能性等を考慮してルールを設けている。ただ、自由に遊んでいただきたいという思いはあるため、近隣の方々の理解を得られる範囲で柔軟な対応をしていきたい。市として統一的な取り扱いをする場合の案であるため、今後運用していく中で検討させていただきたい。

住民：フェンスをネットにする、天井にネットを張る等、もし条件が緩和できるようになったら、子どもたちも最低限の制限で遊べるようになるので良いなと感じる。

市：御意見として承る。

住民：防災機能についてお聞きしたい。備蓄庫の設置や土のうの備蓄、炊き出しの機能等は想定しているか。また、災害用トイレは何基設け、下水が流れない場合排水が可能なのか。トイレが足りない場合の具体的な活用等は検討しているか。

市：駒井公園の防災上の位置付けとしては、避難所ではなく一時的な集合場所としている。災害時に集合する場合は、避難所へ避難するまでの短い時間を想定しているため、すぐに防災対応型に切り替えられるトイレとして設けている。具体的には、便器底の蓋を開けると汲み取り式に切り替わり、下水管が止まっても災害時にも使用できるトイレである。非常時の切替えの対応については、職員が対応する。ワークショップではマンホールトイレ等の御意見もいただいたが、設置までに時間を要することに加え、避難所にすでに設置されているため、集合場所としての役割を検討した結果導入しないこととした。基数は男女各1基設ける予定である。また、集合場所としての利用を想定しているため、備蓄倉庫や炊き出しの機能等は設けない方針である。

住民：質問というより意見だが、保育園児や小学生が主な利用層となる中で、禁止事項等の情報は、市からホームページ等で情報発信されても目を通しきれず、子どもまかせになるケースも多い。そこで、例えば市から近隣小学校の先生に伝えてもらい、先生から子どもたちに、できること、やってはいけないこと等の情報を伝えていただければ、直接子どもに伝わって良いと思う。子どもに伝わりやすい方法を考えていただければと思う。

市：これまでのような情報発信のみならず、保育園や小学校等を通して子どもたちへできる限り直接伝わるような工夫を検討していきたい。貴重な御意見として承る。

住民：以前狛江高校の近くに、フェンスで囲まれ子どもたちが野球やサッカー等ができるクレーン広場があった。そこではシルバーの管理者が、ある程度管理を行っていた。駒井公園においては、鍵をかけて夜間等は立ち入れないようにするのか、開放するのか。また、特定の集団が占有して他の人たちが使えない等の事態が起こる可能性もあるが、管理者がいればうまく棲み分けができるのではないかと思うが、そのあたりのお考えはどうか。

公園を気持ちよく使うためには、公園がある限り維持管理についてはずっと続くものであるので、専門的な知識が必要なもの、水やりや雑草処理等の簡易的にできるものの棲み分けも含め、市民が協働できる維持管理方法について、御検討いただきたい。

公園の南側出入口（第2期）の位置に、現在町会の掲示版がある。公園になった際に、駐輪場やキッチンカースペースにかかってしまうが、掲示版を移動してでも残していただけないか御検討いただきたい。

市：ボール遊び広場については、時間帯で制限を設ける予定である。例えば、概ね午前9時～午後5時まで開放し、夜間は鍵をかけ深夜には立ち入りができないような管理方法を想定している。また、管理人の常駐については現時点では想定していないが、今後の運用によって検討していきたい。

市内の他の公園は、樹木のせん定や下草の除草、清掃等は民間事業者へ委託し、適切な形で維持管理を行っている。その上で、地域の住民の皆様と協働しながら行う維持管理方法も検討していきたい。

町会の掲示版については、市内他公園でも、公園内の占有許可の手続きを行い、設置が可能となっている。第2期分まで完成した後に、キッチンカースペースとの折り合いをつけながら、どこに設置するかは改めて検討していきたい。

住民：北側住宅地に面する区間についてのフェンスが1.8mとあるが、今公園側が一段下がっていると思うが、具体的にどのくらいの高さまで来るのか想定できない。どのようなイメージか確認したい。

市：今回は公園全体の方針となるため、フェンス等の具体的な仕様については今後御相談いただければと思うが、北側住宅は公園に対して50～70cm上がっている状態になっている。現時点では、公園側の低い方に1.8mのフェンスを設けることを前提とし、必要であれば更にその上に0.5m程度のフェンスの追加設置することを想定する。公園側から見えないことをベースとして、さらに住宅側からも見えない方が良いのか、借景として公園側を見たいか等については、各住宅によって異なるため、個別に御相談させていただきたい。

住民：今後近隣住民にヒアリングした上で、最終決定という認識で良いか。

市：フェンスについては、そのように対応させていただく予定である。

以上